

| | |
|--|-----------|
| 目次 | |
| 第1章 相談支援と自立支援協議会 | 6 |
| 1) 障害者自立支援法の目的 | 6 |
| 2) 相談支援事業 | 6 |
| 第2章 地域自立支援協議会の目的・機能等について | 9 |
| 第1節 概要 | 9 |
| 1) 地域自立支援協議会の位置づけ | 9 |
| 2) 地域自立支援協議会の運営の視点 | 10 |
| 3) 地域自立支援協議会の機能 | 10 |
| 第2節 地域自立支援協議会の機能等について | 11 |
| 1. 情報機能（情報の共有と発信） | 11 |
| 2. 調整機能 | 15 |
| 3. 開発機能（資源の開発・改善） | 17 |
| 4. 教育機能（構成員の資質向上・研修の場） | 19 |
| 5. 権利擁護機能 | 21 |
| 6. 評価機能 | 22 |
| 第3章 地域自立支援協議会の標準的な組み立てと進め方 | 24 |
| 第1節 標準的な組み立て | 24 |
| 第2節 各会議の進め方と関係性 | 26 |
| 1. 個別支援会議は協議会の命綱 | 26 |
| 2. 事務局会議（運営会議）は協議会のエンジンであり羅針盤 | 27 |
| 3. 定例会で地域の情報を共有し、具体的に議論 | 28 |
| 4. 専門部会（プロジェクト）で議論を深め、施策提案等を目指す | 29 |
| 5. 全体会で地域課題を確認し、施策提案等へ | 30 |
| 6. 個別課題等の普遍化 | 31 |
| 7. 地域における工夫 | 33 |
| 第3節 立ち上げのポイント | 34 |
| ステップ1 「なぜ地域自立支援協議会が必要なのか」を共有する | 35 |
| ステップ2 「どのような筋立てならうまくいくのか」を設計する | 36 |
| ステップ3 「どのような組織構成を考えるのか」を協議する | 37 |
| ステップ4 「誰にどのように声がけしていくのか」を説明する | 38 |
| ステップ5 「どんな法規を整備するのか」を規定する | 39 |
| ステップ6 「どのような手順で進行するのか」を組立てる | 40 |
| ステップ7 「どのように資源を活用するのか」を工夫する | 41 |
| ステップ8 「どのように発展をさせていくのか」を展開する | 42 |
| おわりに | 43 |
| コラム 精神障害者地域移行支援特別対策事業と相談支援事業・地域自立支援協議会 | 44 |

| | |
|---|-----------|
| 第4章 具体的な事例を通しての地域自立支援協議会の流れ | 46 |
| 1) ニーズの把握・掘り起こし | 46 |
| 2) 個別支援会議の実施と効果 | 49 |
| 3) 事務局会議（運営会議）の実施と効果 | 52 |
| 4) 定例会の実施と効果 | 53 |
| 5) 課題別検討会・専門部会（プロジェクト）の実施と効果 | 55 |
| 6) 全体会の実施と効果 | 56 |
| 7) 地域自立支援協議会は地域づくりの発射台 | 57 |
| | |
| 第5章 アドバイザーの果たす役割 | 58 |
| 第1節 都道府県自立支援協議会とアドバイザー派遣事業 | 58 |
| 1. 都道府県の役割 | 58 |
| 2. 都道府県自立支援協議会 | 59 |
| 3. アドバイザー派遣事業（都道府県相談支援体制整備事業） | 59 |
| 4. アドバイザーと市町村・都道府県の関係性 | 61 |
| 5. 特別アドバイザーの活用 | 62 |
| 第2節 アドバイザー業務の心構えと実際 | 63 |
| 1) アドバイザーの基本姿勢 | 63 |
| 2) 様々なアドバイザー活動 | 63 |
| 3) 「配置型」と「派遣型」 | 64 |
| 4) 相談支援事業の質的向上とその先 | 65 |
| コラム 相談支援専門員のネットワーク | 66 |
| | |
| 第6章 地域自立支援協議会のステップアップ—どのように発展させるか— | 67 |
| 1) 地域自立支援協議会の発展形 | 67 |
| 2) 地域自立支援協議会のステップアップ指標（案） | 73 |
| 3) 地域診断 | 75 |
| 4) 地域自立支援協議会のもうひとつの指標 | 76 |
| | |
| 第7章 自立支援協議会の今後の目指すべき方向 | 77 |
| | |
| 第8章 自立支援協議会 Q&Aコーナー | 79 |
| 意義・位置づけ | 79 |
| 組織構成 | 83 |
| 運営方法 | 83 |
| その他 | 92 |